

令和 8 年 8 月 1 日

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
那須町立小中学校 8 校	那須町教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
東陽小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
学びの森小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
高久小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
田代友愛小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
那須高原小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
黒田原小学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
那須中学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html
那須中央中学校	https://www.town.nasu.lg.jp/0332/genre2-1-001.html

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果及び、学校関係者結果の公表について
東陽小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
学びの森小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
高久小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
田代友愛小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
那須高原小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
黒田原小学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
那須中学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開
那須中央中学校	内容やその成果、保護者意見等を学校だより等で公開

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

那須町が推進する幼保小中一貫教育の出発点として、以下の5つの教育課題が挙げられる。

- ア 多様な子ども達への理解と長期的な対応の必要性
- イ 価値観の多様化時代に即した教育施策・学校の再編
- ウ 地域住民の声に支えられる学校作りの検討
- エ 児童・生徒が地域や学校に誇りを持てる環境づくりの推進
- オ 地域における人と人のつながりを深める施策の体系化

これらの教育課題の解消のために、特別の教育課程を編成し、3つの内容（「人間関係プログラム」「防災教育プログラム」「プログラミング教育」）を実施している。

「人間関係プログラム」では、人間関係の構築や社会性の育成のための技能の習得を図りながら、社会人として求められる学力の基盤となる人間関係力を育成し、「防災教育プログラム」では、地域特性に応じた防災・減災教育をとおして、自分や周りの人の命・安全を守ろうとする態度を育成する。「プログラミング教育」では、AI時代における倫理的思考力の育成を図っていく。

これまで各教科や特別活動等で別々に扱ってきたこれらの内容を、「関わる力」というキーワードで結び付け教科化することにより、各教科、外国語活動、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間等の強化・補完に繋がることを期待している。

（２）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

那須町幼保小中一貫教育では、「NAiSU タイム」を教育課程の中核に位置付け、今後の町の学校教育の柱としていく。

4. 課題の改善のための取組の方向性

NAiSU タイムの３つの活動内容が「なぜ重要なのか」「どんな力が育つのか」を、生徒の感想や写真・動画を交えて具体的に紹介するなど、「存在を知らせる広報」から「価値を伝える広報」へと転換を図っていく。

アンケートでは、小学校保護者は授業参観や公開授業で NAiSU タイムについて知ることが多く、中学校では HP や学年だよりなどでその活動内容を知ることが多い結果となっている。今後はこの結果を踏まえ、NAiSU タイムの活動に多くの保護者が参加・視聴しやすいように工夫していくことで、学校と家庭の連携を強化する「仕掛け」となり、学校での学びが家庭での行動に繋がるように進めていきたい。